

学習のめやすプロジェクト:学習シナリオ

記入者:中国語 A

言語:中国語	話題分野:学校生活
必要とする時間数(参考): 10~12 時間	対象クラス(レベル): 高校 2 年生 (レベル 1)
必要とする教材・リソース: 模造紙・プレート・中国の高校のサイト・コンピューター	
コミュニケーション能力指標: 2. 学校生活 1-1. 学校の名前や所在地(都道府県や市など)を言ったり書いたりできる。 1-2. 時間割(何曜日、何時間、科目など)を見て理解できる。 1-3. 時間割を見ながら、好きな科目や嫌いな科目について言ったり尋ねたりすることができる。 1-4. 学校のこと(制服、給食、宿題、体育館・図書室ほかの設備の有無など)について、口頭でやりとりできる。 1-5. よく使われる教室用語を聞いて理解したり、わからないときはそのことを伝えることができる。 1-6. 授業やクラブを担当する先生(名前、性別、担当科目やクラブ、出身地など)を口頭で紹介することができる。 1-7. 自分が学習している科目名や学校の施設名を書いて伝えることができる。 4. 趣味と遊び 1-3. どんなこと(スポーツ、映画、読書など)をするのが好きか口頭または書いて紹介しあうことができる。 3. 日常生活 1-2. 一日の行動(何時になにをするか)について会話できる。	
学習シナリオ(ストーリー性のある一連の学習活動): 文化高校へようこそ! 日本の文化高校に中国から 1 人転校生がやってくることになり、中国語を学ぶ生徒たちが彼をサポートすることになった。 転入生のプロフィールを読みながら、日本の学校生活に早く慣れるためには、どんなサポートが必要か考える。 転入生が来る前に、中国語の資料を準備(教室用語表、校内案内図作成、施設名プレート作成・貼り付け、時間割作成、担当教員の名簿作成、クラブの一覧表作成、年間行事予定の作成)し、学校案内仮パンフレットを作成する。	

転入生が来たら、生徒たちで学校生活オリエンテーションをする。教室用語を日中対訳で教える。教科担当の先生を招いて紹介する。一日の学校生活について口頭で紹介する。好きな教科・趣味などを聞きながら、どのクラブに参加するのがいいか一緒に考える。オリエンテーションのあと、校内案内図を見せながら、校内を案内する（ツアーをする場所は、緊急に必要な場所を厳選する）。今後、同じように中国人生徒が転校してきたときに使えるよう、以上の情報をまとめ、より良い学校紹介冊子を作る。

学習活動のステップ:

1. 転校生のプロフィールを皆で読む。インターネットを利用して中国の高校のサイトを見る。
2. もし自分が中国に転校した時に知りたいことを考える。彼をサポートするために、以下の担当で班に分かれて、日本語で準備を進める。
 - A班：教室用語集の作成。
 - B班：校内案内図作成、施設名プレート作成・貼り付け、ツアーのルートを考える。
 - C班：時間割作成、科目の内容紹介、担当教員の名簿作成
 - D班：クラブの一覧表作成、年間行事紹介の作成
3. 班ごとに説明に必要な中国語語彙や表現をリストアップする。
4. 必要語彙・表現をクラス全体で学習する。
5. 各班ごとに担当分野の中国語表記追加作業をする。仮パンフレットを手書きで作成する。
6. 校内ツアーと説明会のリハーサルをする。
7. 転校生を迎え、自己紹介をした後、A・C・D班の発表をする。中国の高校の状況を訊ねる。発表の後、B班が皆を連れて校内ツアーをする。
8. パンフレット作成のため、中国語入力の学習をする。
9. 班を組み替え（元の ABCD 班メンバーがそれぞれ一人ずついるように）で、転校生とのやり取りを通して得た経験を踏まえて、仮パンフレットを見直し、学校案内パンフレットを中国語で作成する。
10. 出来上がったパンフレットを見比べて、生徒・教師・転校生の皆で評価しあいながら、一番出来のいいものを選び、今後の学校紹介に生かすため、校長先生に提出する。

代替活動:

転校生が来なくなった場合は、近隣中学の中国人生徒・保護者を招いて、学校案内をする。

拡張活動:

出来上がった学校案内をインターネットのホームページにアップする。
学校案内ホームページの中国語版を作る。

評価

●総括的評価：

転校生を前に、学校案内をする。
学校案内パンフレット最終版を作成する。

●形成的評価：

転校生のプロフィールを読みとる。
時間割・施設の場所・どんな行事があるか・どんな部活があるかを中国語で言う。
先生・科目の内容・部活の内容を紹介する。
学校案内仮パンフレット・施設名プレートとして書く。
班ごとに発表のリハーサルを通して口頭で発表する。

言語運用のモード(4 技能)

●対人モード：

説明会や校内ツアーで転校生とやり取りする。(会話・筆談)
転校生の好みを訊ねる。

●解釈モード：

転校生のプロフィールを読み取る。
中国の高校のホームページを見る。

●提示モード：

学校生活紹介のパンフレット作成。
学校生活紹介を転校生の前で口頭で発表をする。

表現：

～（日本語）是……的意思。
几点做什么。
在/有
～老师教（科目）
喜欢～

語彙：

科目名・施設名・クラブ名

文化理解(文化事象への関心・観察・気づき／比較／移動の要因考察／調整・相互作用):

転校生をサポートする準備を通して、相手の文化に興味を持ち、相手の立場に立って考える視点を得る。

中国の高校生活と日本の高校生活の違いを知る。(時間割日程・科目・部活・行事・クラス編成・学習量の違いなど日中の相違)

文化事象(取り上げる文化事象)

高校生活における時間割日程・科目・部活・行事・クラス編成・学習量など

学習スキル(カリキュラムの要素):

●高度な思考能力:

相手の立場に立って、自分たちの文化を見直す。

●情報処理能力:

プロフィールから相手のニーズを読み取る。

●問題解決能力:

転入生がスムーズに日本の学校生活に適応できるようにサポートする。

●方略的能力:

限られた中国語能力で、できるだけ多くの情報を伝える。

●テクノロジー(IT操作):

パソコンを利用して中国語での文書作成。インターネットの利用。

●リテラシー:

パンフレットやプレートに中国語表示を書く。プロフィールを読む。

●協働作業:

グループ作業

●自律学習:

必要な語彙・表現を考える。

●創造力:

相手のニーズを考える。

他教科との連携:

情報・地理

教室外との連携:

近隣大学の留学生と交流

注:

クラスの人数: 16人

グループ分け: 4人×4グループ